

発泡スチロール造形 手順書 (例)

(タケハードⅡ 塗布)

原型作製

発泡スチロールを切削し、
原型を作製します。



原型

原型部品接着

<位置決め>
接着剤「タケタック」を塗布する
箇所にマーキングをします。



位置決め

<接着剤塗布>
原型本体と部品の接着部位に接着剤
「タケタック」を刷毛などで薄く塗
布します。



タケタック塗布 (本体側)

※必要以上の厚みに塗ると極端に乾
燥が遅くなります。

注)「タケタック」は本来白色の液体
ですが、右の写真ではわかりや
すいようにピンク色に着色して
使用しています。



タケタック塗布 (部品側)

<乾燥>
15分程度自然乾燥します。

※接着剤塗布面がテープの接着剤の
面ようになるまで乾燥します。



乾燥

<接着>

原型本体と部品の接着剤塗布面
同士を圧着します。



圧着



接着後

表面調整

<パテ塗り>

切削後凹凸のできた発泡スチロール
の表面にタケパテSP-Mを刷り込
み、乾燥させます。



タケパテSP-M



タケパテ塗布

<乾燥>

30分程度自然乾燥します。



乾燥

<平滑化>

原型表面をサンドペーパーで研磨し、平滑化します。



平滑化



表面調整後

タケハードⅡ塗布

<タケハードⅡ塗布液作製>

タケハードⅡのA液とB液をA液：B液：水=1：30：0～3（重量比）になるように電子秤で正確に秤量し、攪拌混合して塗布液を作製します。



タケハードⅡ B液秤量



タケハードⅡ A液秤量



タケハードⅡ 水希釈



攪拌混合

<タケハードⅡ塗布1回目>

作製したタケハードⅡの塗布液を
刷毛などで塗布します。

※タケハードⅡは反応型の塗料です。

A液とB液を混合した後は速やかに
使い切ってください。



タケハードⅡ塗布1回目

<乾燥・硬化>

乾燥します。(24時間以上)



乾燥・硬化

<タケハードⅡ塗布2回目>

1回目と同様に作製したタケハードⅡ
の塗布液を刷毛などで塗布します。

※タケハードⅡは反応型の塗料です。

A液とB液を混合した後は速やかに
使い切ってください。



タケハードⅡ塗布2回目

<乾燥・硬化>

乾燥します。(24時間以上)

※タケハードⅡは反応型の塗料です。

塗布後、塗膜の強度が十分に発揮
されるのに3日程度の時間が必要
です。



乾燥・硬化



仕上げ

<着色>

基本的に着色には水性塗料をご使用ください。 溶剤系の塗料もドライ塗布であれば使用可能ですが、溶剤分がタケハードⅡの層を透過し、発泡スチロールに達すると発泡スチロールが溶解してしまいます。ご注意ください。